

旅立ちの日に

螢の光

一 白い光の中に 山並みは萌えて
遙か空の 果てまでも 君は飛び立つ
限りなく青い空に 心ふるわせ
自由をかける鳥よ 振り返ることもせず
勇気を翼にこめて 希望の風に乗り
この広い大空に 夢を託して

螢の光 窓の雪

書(ふみ)読む月日 重ねつ

二 懐かしい友の声 ふとよみがえる
意味もないさかいに 流いたあの時
心通った嬉しさに 抱き合った日よ
みんな過ぎたけれど 思い出強く抱いて
勇気を翼にこめて 希望の風に乗り
この広い大空に 夢を託して

今 別れの時 飛び立とう 未来信じて
はずも るい 力信じて
この広い この広い 大空に



何時(いつ)しか年も すぎの戸を
明けてぞ今朝は別れ行く

平成三十年度

平成三十一年三月二十日

開式 午前九時三十分

京都市立伏見板橋小学校